

23. 仕事に役立つ「製品・部品の実用化フローと不具合リスクの未然防止の“勘どころ”」 ～やさしく分かり、しっかり身に付く～

新規部品立上げ～量産までの流れや品質保証のキーポイントを実践事例を含めてわかり易く解説し、実用化リードタイム短縮と品質を向上させる方策を QC 工程図作成、工程能力 (Cp・Cpk) 算出、管理図作成、工程 FMEA ケーススタディーなどの実践演習で体得できます。

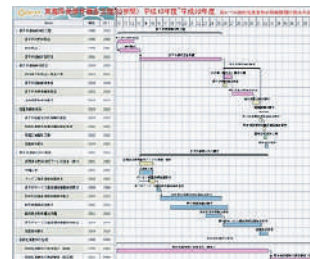
Point!

●実用化リードタイム短縮と品質向上策を演習で体得する

$$Cpk = \text{Menor valor entre } Cpu \text{ y } Cpl$$

$$Cpu = \frac{LES - \mu}{3\sigma}$$

$$Cpl = \frac{\mu - LKl}{3\sigma}$$



主催：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構
 参加費：MRO 賛助会員 8,000 円 (一般：12,000 円)
 会場：テクノプラザおおた研修室 太田市本町 29-1 Tel:0276-50-2100 Fax:0276-50-2110
 募集人員：15 名程度。なお、応募人数が少数の場合は研修を中止することがあります。ご了承ください。

日程 (3日間コース)

研修内容

12/6(月) 9:30 ~ 16:30	【第 1 回】 1. 試作受注～量産までの各ステップの QCD 管理を向上させるための主要な流れと意義 2. QC 工程図 (工程表) の目的と使い方 3. 作業標準書の必要性と狙い 4. 各種指示書・帳票の役割とポイント 5. 各種治工具、固有計測器の管理台帳の意義 6. 【演習】各社の部品について QC 工程図の作成とグループミーティング
12/14(火) 9:30 ~ 16:30	【第 2 回】 1. FMEA とは 2. 工程 FMEA の実施例 3. 実施にあたってのポイント 4. 品質保証体制と FMEA：QC 工程表と工程 FMEA、FTA との併用 5. 【演習】工程 FMEA のケーススタディー
12/21(火) 9:30 ~ 16:30	【第 3 回】 1. QC 工程図に基づく工程品質保証の把握の意義：工程能力とは、必要性和管理手法 2. 【演習】工程能力指数 (Cp・Cpk) 算出とグループミーティング 3. 管理図管理とは、必要性和管理手法 4. 【演習】管理図の作成とグループミーティング

*講師プロフィール

竹内光男 (MRO コーディネーター、群馬県能力開発協会 人材育成コーディネーター) 群馬大学 (機械工学科) 卒
 経歴：マックス(株)生産技術、品質保証、生産工程～実用化の仕組み作り、企業内小集団活動と組織活性化
 蓼沼愛一郎 (MRO コーディネーター) 群馬大学 (化学工学科) 卒
 経歴：小倉クラッチ(株)技術本部、研究開発、生産技術、営業技術、品質管理の各部。商品開発～市場拡販まで。現場改善および品質管理全般。
 群馬県中小企業サポーター認定

受講料について

- 受講申込時に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MRO スキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ながら、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日 1 週間までは受講料全額を返還します。1 週間以内の場合は全額を頂戴します。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAX など記録の残る手段でお願いします。 注) 1 週間：MRO (当財団) の 6 勤務日前 17 時までとします。

●問い合わせ申し込み先：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構
 tel : 0276-50-2100、fax : 0276-50-2110、E-Mail : kenshu@mro.or.jp

23. 仕事に役立つ「製品・部品の実用化フローと不具合リスクの未然防止の“勘どころ”」～やさしく分かり、しっかり身に付く～受講申込書

ご芳名 (ふりがな) :	所属	役職
ご芳名 (ふりがな) :	所属	役職
会社名	住所 〒	
TEL	FAX	E-Mail